



# ひらの ゆうや 平野祐也の一般質問がきっかけで 本当に岐阜が変わる!?

## その質問どうなった?

平野祐也がした一般質問がその後どうなったかを追いかけてみます!



岐阜新聞記事の一部抜粋。



7月9日開催自治会長向け説明会の様子。  
@川島ライブデザインセンター

### 緊急要望! 国・県・市で連携! 住民説明会も開催! 開始!

6月30日の一般質問にて、県として対応方針を質問しましたが、その後7月6日に川島地区自治会長向け説明会を開催、7月15日に市長から知事へと緊急要望、7月21日に知事から国交省に緊急要望を行いました。今後は国直轄事業として予算がどのタイミングでいくら付くかの勝負になってきます。まずは10月の濁水期に向けて工法を検討しますが、「傾いた橋脚の撤去」、「それに伴う北側橋桁の撤去」は決まっています。「残った部分の橋が使えるのか」、「全面架け替えか」が今後の焦点となります。通行止めの影響で川島市街地の交通の流れが変わったことに伴う弊害も聞こえてきています。早期復旧に向けて国・県・市と引き続き連携して取り組んで参ります。



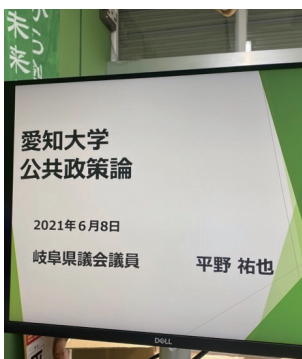
### 開始! 宇宙プロジェクト! キックオフ!

7月9日に岐阜県航空宇宙産業支援関係者連携会議が開催されました。各務原市を代表する航空宇宙産業の各社やスタートアップ企業、大学教授や県庁と産官学連携の会議にて「仮称・宇宙プロジェクト研究会」の設置が議論されました。今後やる気のある企業を巻き込みながら、各種プロジェクトが進んでいきます!是非ともご興味がある方はご連絡ください!

### 導入! ローカル5G! VRテクノセンターに導入!



2020年3月に一般質問を行い、導入を提案した「ローカル5G」がお膝元の各務原市にあるVRテクノセンターに導入されます。現在システムチューニング中で本格稼働は秋頃とのこと。まずは小型ドローンの実証実験等に活用されますが、活用可能性は無限大です。これからテクノプラザで検討される宇宙プロジェクトにも活用してほしいと思います。



6月にはZOOMを活用して愛知大学地域政策学部で政治家の実情を講義しました。

【普段何してるの?】  
政治家になってよく聞かれるのが、「議会以外の時に何をしてるの?」という言葉です。基本的に議員は議会の招集日以外に公式な登庁日は無く、毎日県庁にいる訳ではありません。サラリーマン時代は良くも悪くも会社に行けば仕事がありました。政治家は自分で動くか動かないかで予定が大きく変わります。コロナ禍でいわゆる「来賓挨拶」や「夜の会食」も無くなり、その分、県庁や市役所に行く機会が増えました。困っている方が増えている時こそ政治行政の出番だと思えます。僕は365日休日無しのもりです。なのでお気軽にご連絡ください。なかなか気軽にと言われても気軽じゃないかもしれませんが、コロナ禍で僕自身からは行きにくい所もありますので、本当にお気軽にご連絡ください!  
(平野携帯:08097051004)

# 岐阜県議会議員 平野祐也 タイムズ VOL.11

### 平野祐也のプロフィール



1984(S59)年12月生まれ  
緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高  
▷名古屋大学法学部卒  
▷三菱商事(東京・米国)11年勤務  
▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みだ政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶴沼山崎町在住。

発行日  
**2021年 晩夏号**

平野祐也 最近の活動は  
で検索!



各務原から  
創ろう。  
岐阜県の  
未来を。

ホームページ



# 知っているようで知らない 各務原の歴史 中山道鵜沼宿



木曾街道鵜沼駅従犬山遠望



鵜沼宿町屋館

鵜沼宿は、江戸・日本橋から52番目の中山道の宿場です。東海道と共に江戸と京都を結ぶ重要な街道でした。美濃国各務郡鵜沼村に存在していました。平成20年より中山道鵜沼宿町屋館がオープンし、ボランティアガイドの皆さんからの説明や歴史資料を展示しています。江戸時代の浮世絵「木曾海道六十九次」で歌川広重と合作で深斎英泉が描いた「木曾街道鵜沼駅従犬山遠望」にも鵜沼の宿場町が描かれていたり、松尾芭蕉が鵜沼宿に滞在した時にふく汁と菊花酒の歓待を受けて、「ふく汁も喰へは喰せよきく乃酒」と読んだ句碑があったり、伊能忠敬が「ねぶか雑炊」を食べたりと、歴史の教科書で出てきた偉人のエピソードも盛り沢山。各務原市が昔から歴史の要衝にあったことがよく分かります。ちなみに、鵜沼宿は太田宿・加納宿に囲まれています

が、加納宿までの距離が長い(約17キロ)ことから、那加新加納町は正式な宿場町ではないものの「間の宿」として栄えました。一度遊びに行ってみてください!

# 平野祐世の岐阜 未来タイムズ VOL.11

世界の食糧難は「コオロギ」が防ぐ?!  
昆虫食の未来。

世界的な人口増大を受けて、将来「食糧難が起きるのでは?」と囁かれる現在、注目を集めているのが「昆虫食」です。昆虫食といっても、当然カブトムシや蝶ではありません。日本では昔からイナゴや蜂の子等、昆虫食が身近にあり、恵那市ではクロスズメバチの幼虫を目当てに全国から愛好家が集まる「くしはらへホ祭り」が今も毎年秋に開催されています。



コオロギ昆虫食

一方、現在世界的にも開発が進み、注目されているのが「コオロギ」です。そもそも昆虫食に注目が集まったのは、2013年5月に国連食糧農業機関(FAO)が公開した報告書です。世界の人口は2050年までに90億人を突破し、既存の家畜では食糧確保が難しいという内容です。牛や豚、鶏を飼育するにも人間の食糧を餌にすること、牛はメタンガスを排出する等、環境への負荷が大きい家畜です。小泉環境相がアメリカの会議でステーキを食べて批判されたのも、「環境行政やSDGsを語る一方で、牛肉を食べるといっては矛盾している」という世界的な潮流からです。対して昆虫は、これらの家畜と同量のたんぱく質を生産するのに必要なエサの量が圧倒的に少なく、環境負荷の軽減も期待されています。



昆虫系政治家活動状況

このFAOの報告書が後押しとなり、各国で昆虫の食用化の研究開発が加速し、2018年にはEUで食用昆虫の取引が自由化され、昆虫食を扱う食品メーカーが急成長を遂げるなど、産業化が進んでいます。日本では昨年5月に無印良品が「コオロギせんべい」を同社ネットショップで先行発売したところ即日完売でした。どちらかというと「ゲテモノ」扱いされがちな昆虫食ですが、人類にとって「救世主」となる可能性があります。今では世界中で食べられています。その昔は「お寿司」も生魚を食べる文化が無かったことから「ゲテモノ」扱いされていましたが、その美味しさと健康志向で今では日本食は「ヘルシー」で「Cool」という扱いに変わり、世界的に魚を食べるようになりました。その結果、世界で漁獲高が上がったため、日本の魚が少なくなり、秋刀魚等値上がりしていることも知られています。「イナゴ」や「蜂の子」が世界の食卓に並ぶ日も遠くないかもしれません。世界的な食糧難は何か画期的な解決策が出てこない限り、食糧争奪戦が始まってしまいます。その救世主となり得るのが「昆虫食」だとすれば、歴史的にも昆虫食に馴染みのある日本として計画的に産業として認識する必要もあると思います。昔から虫取りが大好きな「昆虫系政治家」として「昆虫食」の開発にも取り組みたいと思います!

政治に無関心でも  
政治と無関係では  
いられない。



LINE公式アカウント



「こんな岐阜県がいいな」を聞かせてください。

携帯:080-9705-1004 住所:〒509-0136 松が丘2-177  
TEL/FAX:058-372-2188 Mail:info@yuyahirano.com

もっと詳しく岐阜を語らせてください!

平野祐世の  
**未来タイムズ**

各務原から  
創ろう。  
岐阜県の  
未来を。

YouTube

ぜひチャンネル登録も宜しくお願いします!